

平成26事業年度

決算報告書

(第11期)

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人岡山大学

平成26年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,556	18,913	357	(注1)
施設整備費補助金	3,903	2,693	△ 1,210	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,216	1,870	654	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	
自己収入	36,452	38,041	1,589	
授業料、入学料及び検定料収入	7,351	7,228	△ 123	
附属病院収入	28,587	30,208	1,621	(注4)
財産処分収入	—	0	0	
雑収入	514	605	91	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,216	5,046	830	(注5)
引当金取崩	400	416	16	
長期借入金収入	1,537	721	△ 816	(注6)
貸付回収金	7	8	1	
目的積立金取崩	—	35	35	(注7)
計	66,366	67,822	1,456	
支出				
業務費	52,891	53,678	787	
教育研究経費	24,212	23,207	△ 1,005	(注8)
診療経費	28,679	30,471	1,792	(注9)
施設整備費	5,519	3,493	△ 2,026	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,216	1,870	654	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,217	5,518	1,301	(注12)
貸付金	32	34	2	
長期借入金償還金	2,491	2,553	62	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	66,366	67,146	780	
収入-支出	0	676	676	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、以下の要因により、予算額に比して決算額が357百万円多額となっています。
①予算段階では予定していなかった特別運営費交付金が措置されたことにより、予算額に比して決算額が476百万円多額となっています。②予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額157百万円を含んでいるが、使用額が38百万円であったため、予算額に比して決算額が119百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が1,210百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が654百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増加、並びに病床稼働率の向上等により、予算額に比して決算額が1,621百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の増加等により、予算額に比して決算額が830百万円多額となっています。
- (注6) 長期借入金収入については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が816百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を計画したため、予算額に比して決算額が35百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が1,005百万円少額となっています。
- (注9) 診療経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,792百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,026百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が654百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,301百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。